

様式第 2 号（第 8 条関係）

会 議 録

- 1 会議の名称 令和 7 年度第 1 回学校施設利活用検討委員会
- 2 会議日時 令和 7 年 11 月 6 日(木) 午後 3 時 00 分～午後 5 時 00 分
- 3 開催場所 川根本町役場 3 階 会議室 1・2
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委 員 鈴木淳二委員、川口舞子委員、植田直美委員、石山貴美夫委員、
中原緑委員、森下正章委員、
(欠席：板谷康平委員、森下洋一委員、山田典秀委員、芹澤慎一
郎委員、西原睦実委員)
 - (2) 執行機関
事務局 総 務 課 課長 澤口誠一郎、財務管理室 室長 高村康弘、
主幹 笹木一則
経営戦略課 課長 坂下誠、まちづくり推進室 室長 櫻井久美、
主幹 林三貴

基本構想策定業者 ランドブレイン株式会社
営業部 チーム長 鈴木浩史、
地域経営・共創チーム チーム長 佐藤洸
 - (3) そ の 他 傍聴人 1 名
- 5 議題
 - (1) 現況報告
 - (2) 第一小利活用に関するヒアリング
- 6 会議資料の名称
 - ・次第
 - ・資料 1 空き校舎の利活用について
 - ・資料 2 旧第一小学校利活用に向けたヒアリング調査
- 7 発言の内容（要旨抜粋）

	(1) 開会
	(2) 現況報告
事務局	＝資料1をもとに事務局から説明＝
委 員	旧本川根中学校の使用にあつては、料金を徴しているか。
事務局	普通財産であるため、使用料条例の適用は受けないが、それに準じて民間利用分は使用料を徴収している。町の事業としての利用については徴収していない。
委 員	旧北小学校跡地については、観光振興の拠点として利用していくということだが、どのように行政が関与していくのか。
事務局	地域住民の利用も想定した中で、事業者を募集していきたい。一つの企業が独占的に利用するというような想定はしていない。
委 員	旧本川根中学校の利用例に、ロケ誘致の場とあるが、実際に撮影が行われたのか。
事務局	映画やミュージックビデオの撮影が行われた。その他にも使用したいという問合せが観光協会に入っていると聞いている。
委 員	旧本川根中学校に遺物を保管していると思うが、今後どのようにしていくのか。
事務局	所管の社会教育課と連携して検討していく。
委 員	旧第一小学校の運営者について、想定はあるか。
事務局	現時点は構想策定段階であるため、運営者は決まっていない。
委 員	令和7年度予算に旧第一小学校の利活用構想策定費として500万円の計上があるが、これは改修費を含んでいるか。
事務局	今年度の構想策定費のみであり、改修費は含んでいない。
委 員	旧第一小学校は体育館が避難所に指定されているが、災害時の体育館の利用についてはどのようなになるか。

事務局	防災計画に沿って避難所として利用していく。今回の利活用構想策定の範囲に体育館とグラウンドは含めていない。
委 員	旧第一小学校の利活用構想の策定について業者委託されたが、委託の意図と必要性はどのようなものか。
事務局	委員会で決定していただいた方向性に基づいて、昨年度行政内部でプロジェクトチーム(P T)をつくり事業の進行を試みた。他自治体の活用事例を視察もしたが、規模の違いなどから行政職員で進めることが難しかった。補助金の期限的な制約もあり、事業を前進させるため支援業者の介入を決断した。
委 員	そのような経緯をその都度説明してもらいたかった。
事務局	認識の相違があったことは認める。今後は十分な対話をしながら進めていきたい。
委 員	支援業者はどのような業者か。
事務局	調査業務のほか意見を集約した計画策定において全国的なノウハウを持っているコンサルティング会社である。なお、業者の選定にあっては、数社によるプロポーザルから決定している。
委 員	旧第一小学校について、異なる3つの方向性を追い求めることでまとまりがつかなくなる懸念がある。3つの中でも重点事項を決めた上で進めるべきと考える。数年後、十数年後を見据え、財政負担の事も考えて負の財産にしないように。
事務局	利活用にあっては、自立した運営ができることが理想である。行政負担を考えると「公共施設の集約の場」と「地域住民の憩いの場」にあっては利益を追求することは難しいため「商業と賑わいの拠点」という項目を含んでいる。最初からすべてを網羅して事業展開できるとは考えていない。出来るところから少しずつ始めて、最終的には3つを具現化できればと考えている。
委 員	3つの方向性に対して「デジタル化」と「脱炭素」というものがどのように結びつくのか理解が難しい。
事務局	県の補助金を活用するための条件として「デジタル化」と「脱炭素」に関連した取組が必要である。

委 員	利活用構想はいつ完成する予定か。
事務局	令和 8 年 3 月を予定している。
委 員	<p>(3) 旧第一小利活用に関するヒアリング ＝計画策定業務受託業者、入室。資料 2 をもとに業者から説明＝</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民が利用することが大切だと思う。町民が楽しめなければ外から人を呼び込むこともできないと思う。 ・本町は、高齢者福祉は充実している。子育て世代のケアがカギだと思う。島田市のゆめみらいパークや藤枝市の蓮華寺池公園は子育て世代が楽しめる場所になっている。 ・子どもたちが単独で利用（移動）できる公共交通がない。移動手段が大きな課題である。 ・旧第一小学校でイベントを数回実施しているが、駐車場が課題である。 ・イベントの際などに雨天時でも使える場所が備わるといい。 ・銀杏並木は、卒業生が苗を植えたもの。 ・3 階音楽室にあるグランドピアノを下に持ってきて活用したい。
業 者	<ul style="list-style-type: none"> ・現在並行して実施しているヒアリングで、子育て世代を対象とした場として活用したいという意見を聞いている。その他に何が必要かを積み重ねて決めていければと考える。 ・子どもたちや将来に対する先人の方々の強い思いや、大変な苦労があつて旧第一小学校が出来たことをお聞きした。それを踏まえると、子どもたちのために活用することは大切なことだと考える。 ・移動手段についても、福祉施設の車両の空き時間を活用して、スクールバスなどを地域住民が主体となって運行している事例もある。そのようなことも組み入れながら多様な主体が参画することによっていくつかの課題解決に繋がることもある。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・広い敷地があるため、子どもたちが外で遊べる場所になればいいと思う。遊具も大事だが、主体的に使える工具があるといい。 ・高齢者、幼児の利用を考慮するとバリアフリー化が必要。
業 者	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのために、自己決定できる場所、より自由に使える環境をどうしたら作っていけるかを考えていければと思う。 ・子どもだけの世界ではなく、高齢者や商売人など様々な大人がいる場所で、子どもと大人の接点が自然と生まれる場所になるといいのではないかな。

委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化は課題であるが、予算を考えると段階的な実施になるのかもしれない。 ・施設が老朽化していることが心配である。 ・町によるアンケートなどの回答に、公園や遊び場が欲しいという意見がいつも出るが、行政と町民の概念のズレがあり一向に聞き入れられない。 ・住民が集える場所ということを第一に考えたい。 ・校内には長崎で被爆した種から育った柿の木や、東日本大震災のひまわりなどがある。
業 者	<ul style="list-style-type: none"> ・施設については、今後建築家とも確認していくが、現段階で大きな改修を行うことは現実的ではないと思われる。 ・自治体の運営は厳しく予算をかけられる部分は限られてくる中で、これから先、欲しいものは自分たちで作っていかねばならない時代になる。 ・ヒアリングではエピソードやストーリーなどもお聞きできればと思う。そのようなものを踏まえると川根らしい構想になると思う。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・わんぱくの森（校舎隣接の斜面）は活用できると思う。 ・憩いの場としては、ドッグランがあるといい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室は2つあるが、機能を集約して図書館ができるといい。 ・学校という特徴を活かして、人が集える場所になるといい。 ・小さなイベントでも日常的に何かが行われている施設になると人が集まり賑わいが生まれると思う。 ・体育館は防災機能を高めたい。
業 者	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの場として利用したいという声もある。町の総合計画でも一丁目一番地に掲げている「人づくり」に合致する。 ・様々なお話をお伺いしているが、誰かがやってくれるわけではない。ストーリーや背景を大切にしながらも、やってみたいという思いのある方を中心に話を進めていければと思う。 <p>(4) 閉会</p>